

令和5年2月3日
石神井南幼稚園

農園活動報告書

農園活動につき、下記の通り報告いたします。

記

1、 実施回数

令和4年4月から令和5年3月（年間を通して）

2、 ねらい

- ・植物の変化や生長の様子に関心をもち、自分が育てることを楽しむ。
- ・生きている植物の生命力に触れ、命を大切にすることを育む。

3、 実施内容

園内の畑を使用し、園児が皆で協力しながら、いちご、じゃがいも、さつまいも、大根等の種まきから収穫までを行い、その野菜を園内で調理して試食する、この一連の活動を通して、自然の実態に触れた生きた体験や、食の大切さ、楽しみを学び教育向上の推進を図る。

4、 実施効果

一年を通して、園内の畑で園児が朝顔、じゃがいも、さつまいも、大根、いちご、チェーリップなどを育てた。自然環境に触れる実体験から、植物等の変化や生長に関心を持つことができた。また自分が植物等を育てる体験から、命の大切さの心を育むことができ、環境教育の向上を図ることができた。

令和5年2月3日
石神井南幼稚園

茶道体験報告書

茶道体験につき、下記の通り報告いたします。

記

1、実施回数

令和4年度 年間3回実施

2、ねらい

- ・日本の文化（茶道）を体験する。
- ・茶道を通して、基本的な礼儀を知る。
- ・茶道を通して、相手への思いやりの心を養う。

3、実施内容

園内にあるお茶室を使用し、外部の表千家の先生のご指導により、園児が茶道体験を行う。日本の伝統文化に触れ、礼儀作法や思いやりの気持ちを育て、教育向上の推進を図る。

4、実施効果

年に三回の茶道体験により、日本の伝統文化を実際に体験した。実際にお点前を見ること、茶室に入室する時の挨拶・総礼、お茶をいただく時の作法から相手を思いやる気持ちを育むことができた。

三日目には、園児が自分でお茶を点てる体験をすることができ、人間関係や言葉の領域の向上を図ることができた。

令和5年2月3日
石神井南幼稚園

プール・水遊び活動報告書

プール・水遊び活動につき、下記の通り報告いたします。

記

1、 実施回数
令和4年度 夏期

2、 ねらい

- ・水とふれあうことを通じて、のびのびと遊び、自分の体を十分に動かし、進んで運動をしようとする態度を養う。
- ・子供達の発達の差と水への耐性の個人差を考慮しながら、水に親しむ時間を過ごしていく。
- ・健康で安全な生活に必要な態度を身に付ける。

3、 実施内容

夏期にプール・水遊びを体験することにより、園児は水に慣れ、体力増進を図る。
保育者は救命救急の講習を受け、命の大切さや水に関する知識を習得し、指導の向上を図る。

4、 実施効果

夏期にプール・水遊びを行うことにより、夏の暑さに負けない体力の増進を図ることができた。また、水に慣れ、簡単な泳ぎ方を習得することにより、自分の生命を守る手段を得て、健康領域の向上を図ることができた。

課題として、暑い日に毎日入れる計画を立てることができるとよいという意見があった。時間設定と水着の洗濯、人数による施設の大きさも課題となった。

職員研修・教育相談報告書

職員研修・教育相談につき、下記の通り報告いたします。

記

- 1、 実施回数
職員研修・・・3回/年
教育相談・・・1回/月
- 2、 ねらい
 - ・職員研修・・・幼児教育を担う人材の育成・専門性の向上を図る。
 - ・教育相談・・・専門家が子供の発達や育児の相談にのり、親子の健やかな成長を促す。
- 3、 実施内容
【職員研修】
園の教育方針や教職員に求める資質や技能等について、園長や大学教授、幼児教育専門家を講師とした園内研修を定期的を実施し、教職員の資質の維持・向上を図る。
【教育相談】
普段の子供の様子を保育者と専門家で継続的に見て、こまめに保育者と保護者が連絡を取り、子供の成長を見守る。
- 4、 実施効果
【職員研修】
日々の保育の振り返りを行うことにより、園の特色を生かした保育を実践するようになり、教育水準の向上を図ることができた。
課題として、研修時間を確保すること、研修内容を選ぶことが難しくかった。
【教育相談】
保育者が子供に寄り添い適切な援助を行い、子供の心身の発達を促すことができた。

令和5年2月3日
石神井南幼稚園

新型コロナウイルス感染症に対応した取組み報告書

新型コロナウイルス感染症に対応した取組みにつき、下記の通り報告いたします。

記

1、 実施回数

令和4年4月から令和5年3月（年間を通して）

2、 ねらい

- ・ コロナ禍でも安心して教育活動をおこない、教育保育内容の向上を図る。
- ・ 園と保護者の円滑なコミュニケーションを図る。

3、 実施内容

幼稚園と保護者のコミュニケーションアプリを導入し、保育動画、お知らせ等を配信し保育の質の維持・向上を図る。また、新型コロナウイルス感染症防止対策として、行事の動画配信を行ったり、新型コロナウイルスに関する情報を園と保護者で共有し、安心で安全な保育環境作りをおこなう。

4、 実施効果

上記の取組を実施することにより、新型コロナウイルスの感染拡大（クラスター等）を未然に防ぐことができ、園児の健康と安全を守ることができた。啓発活動として、日々陽性者が出た場合、アプリを通して保護者に知らせ、コロナ拡大への防止対策の一つにした。

また、幼稚園や保護者・園児との連絡を円滑に行えるようになり、心身の健康に関する領域の向上を図ることができた。